

番号	条番号	項目	関連番号	ヒアリング	コメント内容	備考
1				審査会合 R2.1.27	核分裂生成物が僅少であるため新燃料と同等の取扱いが可能であり、冷却の必要もないという点について、定量的に説明すること。	R2.2.21 第3回ヒアリング 資料STCA-3-2にて回答
2				審査会合 R2.1.27	使用済棒状燃料貯蔵時の線量がどの程度になるか説明すること。	R2.2.21 第3回ヒアリング 資料STCA-3-2にて回答
3				審査会合 R2.1.27	25条の放射線防護について、使用済棒状燃料貯蔵設備の線量や取り扱う場面を踏まえて、被ばく線量を低く抑えられることを説明すること。	R2.2.21 第3回ヒアリング 資料STCA-3-2にて回答
4				審査会合 R2.1.27	寸法制限値が満足されない場合の臨界評価について、どのような事象を考慮しているのか。中性子吸収材や他の貯蔵設備の影響等を含めて資料で説明すること。	R2.2.21 第3回ヒアリング 資料STCA-3-3にて回答